

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	南城市	代表者名	古謝 景春		
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	0989175337		
担当者役職	係長	担当者氏名	屋我 健人	連絡先E-mail	*****
住所	9011495 沖縄県南城市佐敷字新里1870番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	齋藤 理栄
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	窓口体験調査、グループワークのファシリテーターを担って頂きました。体験調査では、調査のポイントや視点など、経験を踏まえたアドバイス頂き、有意義な体験調査を実施することができました。グループワークにおいても、現窓口の課題や目指す方向性を示せるようにフォローして頂きました。
アドバイザーへの要望事項	ありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年9月8日	支援・助言(実地)	有	令和5年9月1日	885
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年10月6日	支援・助言（実地）	9時30分	17時00分	60
				活動時間（分）	390
3-2. 派遣場所	会場名	沖縄県南城市役所	最寄駅	南城市役所	
	所在地	沖縄県南城市佐敷字新里1870番地	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	15人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	窓口DXを進めていきたいが、現窓口の課題が洗い出できていない。現場の職員も日々業務に忙れている	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	窓口体験調査を行い、現窓口の課題を認識することができた。また、体験調査後のグループワークでは、課題や目指す方向性を洗い出しすることができた。今後については、全庁に共有しながら具体的に市が目指す窓口DXの機能や業務フロー等を検討していきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	窓口DXの必要性、意識醸成、先進事例の紹介、窓口体験調査の実施、課題・将来像の検討に関する支援	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	窓口の課題が見えるかすることができた。体験調査を通して、窓口担当職員に窓口DXの必要性を感じてもらうことができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	ありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ○現窓口の課題や改善点についてのアンケートを実施 窓口担当職員も現窓口を改善したい意見が多くみられた。アンケート結果をブラッシュアップしながら最適な窓口DXを進める。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	書かない・待たせない窓口の構築	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

